

2025年大阪・関西万博推進本部会議

《第2回議事録》

- 日 時：令和5年4月13日(木)10時30分～11時19分
- 場 所：大阪府咲洲庁舎 44階 大会議室
- 出席者：出席者名簿のとおり

(小林万博推進局総務企画部長)

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。ただいまより、2025年大阪・関西万博推進本部会議の第2回会議を開催させていただきます。

本日司会進行を務めます、万博推進局総務企画部長の小林でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは次第に沿って、会議を進めさせていただきます。まず、本日の出席者につきましては、出席者名簿のとおり、本部長、本部長代行、副本部長と各専門部会の部会長及び副部会長を中心にこの会場にお越しいただきおまして、その他の本部員の皆様にはオンラインにて参加いただいております。それでは会議の開催にあたり、吉村本部長より一言ご挨拶を頂戴したいと思います。本部長よろしくお願いたします。

(知事)

はい。皆さんお疲れ様です。

本日4月13日ですので、あと2年後の今日、大阪・関西万博が開幕になります。いよいよあとちょうど2年に迫りまして、今日、起工式を夢洲で行うと。僕も市長も出席して、総理も出席をされて、起工式を行います。いよいよ準備が本格化するということところです。

この2025年大阪・関西万博は、次はこんな未来社会が来るんだということをしっかり披露して、次の世代にもつなげていきたいと、そう思います。まさに上を向いて、大阪・日本が成長していこうという、その中心的な存在になるのが万博だと思っています。

150カ国の国と機関が正式に表明もされて、参加というのも決定もされました。いよいよこの土台は整ってきましたから、着実に我々が、この地元自治体として、万博を成功させるために、府・市、国、経済界、力を合わせて進めていくべき非常に重要な時期だと思っています。

本日、開催2年に迫りましたから、現在のそれぞれの準備状況であったり、あるいは昨年に第1回の会議を開催いたしました、それ以降の専門部会における推進状況を、この本部会議において共有をいたしまして、引き続き、大阪府・大阪市一体になって取組みを進めていきたいと。そして2025年大阪・関西万博、素晴らしいものを我々が作り上げて、そして次の未来にバトンタッチをしていきたいと。

僕もワクワクする万博をぜひ実現したいし、僕自身もこの目で、この未来社会をしっかりと見たいなという思いがあります。そして、それは次の社会の産業技術にも繋がってくると思っています。この万博ってというのは、「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマですけど、ライフサイエンスももちろんですが、カーボンニュートラル、様々な社会課題を解決する、そのために 150 カ国の英知が結集されますので、これは次の社会課題を解決した未来社会ということ、イコールいろんな新たな産業や技術の成長にも繋がってきますから、この大阪ベイエリアを次の未来社会の発信の成長の拠点にしていく、そのためにもこの万博を成功させたいと思いますので、どうぞ皆さんよろしくお願いします。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございました。それでは早速議事に入らせていただきます。事務局よりお手元の端末にある資料に沿ってご説明申し上げます。

局長よろしくお願いします。

(彌園万博推進局長)

万博推進局長の彌園でございます。

まずもって皆様方におかれましては、日頃から万博の推進に格別のご理解とご協力を賜っており、また、本日この後、博覧会協会が開催いたします起工式、その会場でありますとか、その会場周辺、こういった部分の環境整備にあたりまして、関係所属の皆様方に大変なご尽力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。それでは座って説明させていただきます。

1つ目の大阪・関西万博の準備状況、主なものにつきまして、まずは博覧会協会の取組みについてご説明させていただきたいというふうに思います。スライドの3ページになります。右下に、ページ番号、これ振らせていただいておりますけども、そのページをご覧ください。これは2025年大阪・関西万博の概要ということで、テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、コンセプトは「未来社会の実験場」ということになっております。2025年開催というところは、かなり浸透してきているというふうに思うんですけども、「開催期間はいつ」といった声が多いのが現状でございます。改めまして、2年後の2025年4月13日から10月13日までの184日間の開催というふうになっておりますので、ご認識をよろしくお願い申し上げます。画像は、今回の万博のシンボルとなる世界最大級の木造建築物の大屋根、いわゆるリングのイメージでございます。

次の4ページには、万博会場のレイアウトをお示しさせていただいております。グリーンワールド、パビリオンワールド、ウォータープラザ&つながりの海ということで、3つのエリアで約155ヘクタールにゾーニングされることになっております。

次の5ページには、会場基盤工事、土木工事の工区割り図、これを示させていただいております。昨年10月以降、博覧会協会により、パビリオンの建設着工に向け、土地造成が

進められておりまして、ほぼ完了している状況になっております。

次の6ページには、施設整備工事、建築工事の状況、これをお示しさせていただいております。わけでございますけれども、この間、入札の不落・不調がございましたけれども、①から③のパビリオンワールド、④のグリーンワールド工区、⑤の小催事場、⑥の迎賓館については、契約済みというふうになっております。残る⑦の大催事場と、⑧これは右の方になりますけれども、テーマ館のうち3件、内訳ですね、河瀬館、小山館、宮田館でございますけれども、これらは再公告中でございます、その下ですね、落合館につきましては、再公告準備中という状況になってございまして、契約締結に向け、鋭意準備が進められているところでございます。

7ページには、会場内のパビリオン展示、この状況をお示しさせていただいております。リングの内側にはですね、主に各国の公式パビリオンやテーマ館、そして大屋根リングの外側には、政府館や大阪府・市の大阪ヘルスケアパビリオンなどの自治体館、さらには、企業パビリオンなど合わせて約90棟のパビリオンが立ち並ぶ予定でございます。

次の8ページは、万博への招致活動の状況ということで、現時点の到達点をお示しさせていただいておりますけれども、本日現在、目標を超える153の国・地域に加えまして、8つの国際機関の参加が表明されているところでございます。

次の9ページには、主なスケジュールを記載させていただいておりますけれども、いよいよ、今年度から各パビリオンの建設工事の現地着工、これが順次始まっていくという状況になってございます。

続きまして、大阪府・市の取組みについてご説明させていただきます。

11ページには、令和5年度当初の当局予算、これは国際博覧会推進事業というふうには呼ばせていただいておりますけれども、その予算の状況についてお示しさせていただいております。博覧会協会が行います会場整備の負担金でありますとか、交通アクセスの向上、大阪ヘルスケアパビリオンの建築工事、機運醸成などに140億7600万、これを計上させていただいております。このほか、下段の参考でございますけれども、大阪市万博推進関連事業といたしまして、これは府・市各部局の取組みになる部分もございまして、約64億円も予算化されているところでございます。

次のページから、主な取組みをご説明させていただきますけれども、12ページは交通アクセスについてでございます。万博来場者の円滑な交通アクセスの実現に向けまして、大阪メトロ中央線の輸送力増強として、ピーク時の運行間隔、これを3分45秒から2分30秒に短縮いたしますために、必要な取組みを進めております。

次の13ページは夢洲周辺のインフラ整備でございます。

ちょっと見にくいんですけれども最下段の⑦にありますように、地下鉄中央線の延伸や、左から2つ目に、⑨の2という部分がございまして、夢洲東交差点の立体交差化、これの右のイメージ図につけておりますけれども、こういった整備、また、右の下から3つ目あたりになるんですけれども、⑪の夢舞大橋の車線拡幅などを着実に進めているところでござ

ございます。

14 ページに参りまして、今申しあげましたこれらのインフラ整備の工程でございますけれども、万博の開幕に向けて、すべての工事が順調に進んでいるところでございます。

次の 15 ページからは機運醸成の取組みについて、でございますけれども、これは昨年 12 月に実施しましたアンケート結果についてお示しさせていただいているところでございます。2021 年度と比較いたしまして、万博の開催やテーマの認知度、こういった部分に関しましては、府内では着実に増加しているものの、とりわけ首都圏の数値が低い、また上段右端のですね、来場意向度、これは昨年度から減少してきてしまっております。さらに下段の一番左にありますけれども、若年層の認知度が低い、こういったアンケート結果になっているところでございます。

次の 16 ページですけれども、このアンケート結果を踏まえまして、今年度の取組みを記載させていただいております。1 番からいきますと、地元でのさらなる取組みを推進いたしまして、24 区の地域特性を生かしました取組みの展開や、市町村と連携した集客イベント等の実施とともに、2 番の全国への発信の強化として、11 月の開幕 500 日前や、年内の入場券の販売開始などの節目をとらえまして、訴求力のあるイベント、こういったものを実施していきたいというふうに考えております。このほか 3 番の若年層、4 番の海外への発信強化、こういったことについても取組みを進めていきたいというふうに考えております。

17 ページにはですね、左の上になりますけれども、エリアマネジメント団体と連携したデジタルサイネージ、これを活用いたしました万博の PR など、各部局や区役所、府内市町村による主な取組みについてご紹介させていただいておりますので、後程ご確認いただければなというふうに思います。

次に 18 ページをご覧ください。今年度、万博推進局内に、府・市の関係部局や経済界から成る地域連携タスクフォース、これを設置いたします。このタスクフォースは、機運醸成の司令塔といたしまして、府・市の関係部局や府内市町村だけではなく、民間企業などが行う大規模イベントやシンポジウムなどを対象に情報集約し、それらを万博色にコーディネートするなど、官民一体で万博の盛り上げを展開していければというふうに考えております。今年度実施予定の各催事におきまして、このイベントで万博の PR が可能である、あるいはこのシンポジウムに万博の色付けをして欲しいなど、万博の機運醸成に関するお問い合わせにつきましては、ぜひ、記載の電話番号までご一報いただきますよう、よろしく願いいたします。また、本日お越しのメディアの皆様にも、この点の報道も含めまして、ご協力いただければありがたく存じますので、よろしく願いいたします。

次の 19 ページには今後の機運醸成のスケジュール、これをお示しさせていただいております。万博の開幕に向けて、3 つの山、これが黄色い棒のところのことでございますけれども、これを作っていくというふうに考えております。これらは博覧会協会や経済界とも認識をしておりますけれども、第 1 の山は今一番左の黄色い棒でございますけれども、今年度 10 月から 12 月を PR 重点期というふうに考えておきまして、開幕 500 日前と入場券の

前売り販売、これらを見据えたものでございます。各部局や、区役所におかれましても、まずは、この第1の山を目がけて、積極的かつ主体的に、万博のPRを展開くださいますようお願い申し上げます。

次に20ページからは参加促進の取組みでございます。ボランティアについてでございますけれども、これは主要駅や空港などで交通や観光案内などを行っていただくボランティアの募集に向けまして、先月28日に事業者公募を開始いたしました。その上で、本年6月には運営事業者を決定いたしまして、今年度後半には約1万人のボランティアを実際に募集していきながら進めて参りたいというふうに考えております。このように、企画・検討段階から実行フェーズに進めることで、機運醸成にもつなげていければというふうにも考えております。

次に21ページの万博会場内における自治体の催事参加についてでございます。大阪・関西万博は世界150カ国が一堂に会する場で、大阪の伝統文化や観光資源、また名産品などを世界に広くアピールする絶好の機会であり、まさに府・市の各部局の取組みを、広く世界に向けて発信するまたとないチャンスであるというふうに考えております。府と全ての市町村が連携した催事をめざしてございまして、すでに府・市各部局等宛に催事参加の意向調査、これを実施させていただいておりますので、どんどんお申し込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

22ページは、会場内に用意される催事会場のそれぞれでございます。検討にあたってご参考いただければというふうに思います。

次の23ページは府・市で出展準備を進める大阪ヘルスケアパビリオンの概要でございます。今年度の主な取組みを記載させていただいておりますけれども、昨年11月に業者と契約いたしまして、下段に全体スケジュール、これをつけさせていただいておりますけれども、赤の矢印でございますけれども、今月から建築工事に着工して参ります。

次に24ページでございますけれども、具体的には、明日4月14日より現地で準備工事、これに着手いたします。現場事務所の設置や仮囲い等を行った後、来月からは本体工事として、掘削や基礎工事等に着手していき、博覧会協会のレギュレーションである2024年10月には、建築工事、これを完了させることといたしております。

25ページはパビリオンの展示構成でございます。最上段に順路に沿った展示内容を並べております。平面図左側1階でございますけれども、1階入口から①の未来のゲートを通って2階へ上りまして、②ミライのフード、③ミライのヘルスケアを経て1階に降りまして、④のミライの都市、⑤の中小企業の出展・展示ゾーン、⑥ミライの大阪の食・文化を体験いただくこととしております。このほか1階の真ん中、アトリウムでは「生きる心臓モデル」の展示、これも行いますので、この点は後程ご説明させていただきます。

26ページは先ほどの中小企業の出展・展示ゾーンに関する取組みでございます。リボンチャレンジといたしまして、万博期間中の26週間、週あたり10社、合計260社の大阪の中小企業やスタートアップに出展参加いただくこととしております。

27 ページには少し細かいんですけども、リボンチャレンジの一覧を記載させていただいております。それぞれ左に書いております実施主体が、表の一番右にある事業者募集、これを順次スタートさせております。出展事業者を選定されると、自社の技術や製品などが、地元の大阪ヘルスケアパビリオンで展示できるということで、応募状況は好調というふうに聞いております。

最後に 28 ページをご覧ください。先ほどの「生きる心臓モデル」の展示でございます。この意義・狙いでございますけれども、大阪・関西の再生医療のポテンシャルと未来の医療、これを子どもたちにもわかりやすく示すことで、将来への期待と、命の大切さ、これを学んでいただくとともに、科学への関心を高めていただいて、次代の人材育成につなげていければというふうに考えております。そこで、大阪ヘルスケアパビリオンの目玉のひとつといたしまして、i P S細胞で作成した心筋シートを用いた心臓展示に向けまして、近日中に企画設計等を行います事業者の公募、これをスタートさせていきたいというふうに考えております。

このように様々な取組みが、イメージ段階であったものから、リアルな動きや形になるなど、実行・実現のフェーズに進んできております。府・市の各部局におかれましても、それぞれの取組みの本格化・具体化につきまして、引き続きお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。私からの説明は以上です。

(小林万博推進局総務企画部長)

ここまでで何か質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。ではすみません、議事を進めさせていただきます。

府・市の推進体制につきましては推進本部のもとに各テーマごとに専門部会を設置し、万博の円滑な開催を支援する取組みを進めているところでございます。

各専門部会より、取組み状況等につきまして、専門部会長よりご説明をいただきたいと思ひます。部会長におかれましては、大変恐れ入りますがお時間の都合もござひますので、2分程度で簡潔に説明をお願いしたいと思ひます。

それではまず、財政総務部会の川端政策企画部長、よろしくお願ひいたします。

(川端政策企画部長)

はい。財政総務部会長の大阪府政策企画部長の川端でございます。

資料の 31 ページをご覧ください。財政総務部会は、大阪府の総務部、財務部、政策企画部、並びに大阪市の政策企画室、総務局、財政局並びに、万博推進局で構成されております。副部会長には大阪市の丸尾政策企画室長に担っていただいております。

部会の役割といたしましては、資料に記載してありますとおり、大阪版万博アクションプランに基づく大阪府・市の取組みの進捗管理並びに各専門部会における検討状況の把握や総合調整に加えまして、万博関連事業に関連する予算要求状況などの把握や、今後必要とな

る大阪府・市の組織体制の確保に向けた検討となっております。

昨年度は11月15日に第1回専門部会を開催いたしまして、正・副部会長の選任のほか、部会の設置趣旨並びに実施体制の確認を行いました。12月には大阪版万博アクションプランの改訂を受け、国への要望を実施したところでございます。

資料32ページをご覧ください。今年度は、国や大阪版のアクションプランの改訂状況を踏まえながら、5月末に国に対して要望を行う予定でございます。また、大阪府・市における万博関連事業予算の要求状況等を適切に把握するとともに、万博協会の準備状況を見据え、組織人員体制の確保を進めていけるよう、大阪府・市で検討を進めて参ります。

以上、財政総務部会からの報告でございます。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして、危機管理部会、大中危機管理監よろしくお願ひいたします。

(大中危機管理監)

危機管理部会の部会長の大中でございます。

それでは、危機管理部会につきましてご説明させていただきます。

主な検討内容でございますけれども、ここに記載しております、万博開催事の府域における危機管理、安全対策の実施や、博覧会協会が設置しております安全対策協議会や来場者輸送対策協議会等の協議を踏まえながら、周辺市町村と連携し、災害時における救急体制、周辺滞在客の避難に向けた対策構築、消防防災体制の整備などについて検討することとしております。

現在の検討状況でございますけれども、昨年11月2日に専門部会を開催し、防災、警備の2つの分科会を設置するとさせていただきました。そして令和5年1月16日に第1回警備分科会を開催し、令和5年3月24日に第1回防災分科会を開催して、それぞれ、博覧会協会によります協議会の検討状況について、情報共有させていただいたところでございます。

次のページをご覧ください。2023年度の取組みでございます。防災分科会につきましては、地震、風水害など自然災害等に関する避難・救助対策、消防防災・救急体制の検討を行うこととしております。次に警備分科会でございますが、テロなど国民保護事象等の危機事象に関する対応・対策の検討を行うこととしております。今後の取組みのイメージでございます。下段に書いておりますように、2023年度前半までに、自然災害・危機事象等を想定した上で、各機関の所掌における体制や既存の計画の検証を行って参ります。これと並行しまして、2024年度前半までに、各機関の所掌におけます具体的な対策の検討を行うこととしており、さらに2023年後半からは、分科会での検討状況を踏まえまして、必要に応じた対策を実施し、万一の様々な危機事象に対応するという形を考えているところでござい

す。以上です。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして、医療衛生部会の西野健康医療部長よろしくお願いたします。

(西野健康医療部長)

はい。資料の 35 ページをお願いします。

医療衛生部会長の大阪府健康医療部長の西野でございます。

当部会では、副部会長の大阪市健康局長とも連携しながら、博覧会協会が構築いたします医療救護体制の整備に向けての連携及び応援業務、それから万博会場内外におきます食品衛生、環境衛生の監視指導體制の整備、また万博会場内におけます感染症対策、救急医療に関することなどに取り組んでおるところでございます。

36 ページでございます。昨年度は、部会や部会内に分科会を立ち上げるなど検討を進めて参りましたがけれども、今年度の取組みといたしましては、博覧会協会が設置します、医療救護協議会及び会場衛生協議会等との連携や協議、それから方向性そのものを決定するものとしたしまして、食品衛生施設、環境衛生施設での監視指導體制の構築、コロナ対応の経験も踏まえました感染症サーベイランス体制、それから救急医療体制の強化などを進めて参る予定にしております。引き続き、博覧会協会との連携を図り、必要に応じて、医療関係団体との連携・調整を行いながら、府・市による衛生体制の整備を鋭意進めて参ります。以上でございます。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして産業振興部会、馬場商工労働部長よろしくお願いたします。

(馬場商工労働部長)

はい。37 ページをご覧ください。産業振興部会です。産業振興部会では万博の開催と府・市産業施策の連動を図ることで、万博のインパクトやレガシーを最大限に活かして、大阪の中小企業・生産者等の持続的な成長・発展をさせることをめざしまして、2つの取り組むべき方向性を設定しました。

1つ目は、万博開催時を一つの到達点とした社会実装を見据えた技術革新です。万博開催時点において新しい技術の社会実装を実現できるよう、イノベーションの創出支援を行い、万博後のさらなる成長・発展につなげて参ります。2年目となります今年度は、空飛ぶクルマの 2025 年の商用運航に向けた陸上の拠点整備、実証実験の支援など、様々な分野での万博時に実現させるためのイノベーション創出に向けた基盤整備に取り組んで参ります。そ

して2024年には、社会実装に向けたイノベーションの支援であったり、府民社会の社会受容性の向上を図って、2025年の万博時の社会実装や実験の実現に取り組んで参ります。

38 ページをご覧ください。2つ目は万博がなければリーチすることができなかったビジネス機会の創出拡大です。今年度から万博関連事業受注者登録システム「万博商談もずやんモール」や「大阪産（もん）データベース」の運用など、万博需要をできる限り地元として取り組んでいくための、府内中小企業・生産者等のビジネス機会の創出に向けた取組みを開始して参ります。また、2025年の万博開催時に、その時にしかできないようなビジネスチャンスの創出に向けた、会場内外でのビジネスチャンスの拡大に向けた環境整備等にも、今後取り組んで参ります。以上です。

（小林万博推進局総務企画部長）

ありがとうございます。

続きまして地域連携イベント部会の報告を江島府民文化部長、よろしくお願ひいたします。

（江島府民文化部長）

地域連携イベント部会部会長の江島でございます。

地域連携イベント部会としましては、39 ページでございますが、主な課題と検討内容としまして、大阪府・市関係部局が主体的に取り組む催事、そして市町村が主催する行事等と連携いたしまして、万博開催に向けた機運醸成に取り組むこととしており、これまでも「御堂筋オータムパーティー」、「1000 日前イベント」など、また、市町村と連携しながら、大阪全体で万博開催に向けた機運醸成に取り組んで参りました。この間、当部会におきましても現在の検討状況でございますとおり、大阪府・大阪市の主催事業はもちろん、今後の万博開催に向けた機運醸成について市町村と一層連携を図りますため、地域連携イベントの情報共有を図ってきたところでございます。特に今年度は当部会として、万博の機運醸成を図る市町村に対しまして、大阪府地域イベント開催支援事業補助金を創設いたしました。創設に先立ち実施したアンケートにおきましては、多くの市町村からイベント等での万博のPRが可能との回答をいただいているところでございます。

次に資料 40 ページをご覧ください。2023 年度の取組みについてでございますが、まずは大阪府・大阪市関係部局主体的な取組みといたしまして、万博 500 日前イベントをはじめ、ミyakミyakも活用した取組み、そして下の表にもありますとおり、8 月には吹田市の万博記念公園、ここでは「EXPOパビリオン別館オープニングセレモニー」を行います、そこにおきましても万博PRを行うこととしております。またこれまで行って参りました大阪府・大阪市の「御堂筋オータムパーティー」や、「大阪来てな！キャンペーン」などにおいても、さらにこの万博をPRしていきますとともに、「大阪マラソンEXPO」をはじめとして、文化・スポーツイベントなどにおきましても、より強力に万博の機運醸成を図るこ

ととしております。

加えまして、先ほど申し上げました地域連携イベント開催支援事業補助金を活用して、地域イベントとも連携し、市町村による機運醸成の取組みを後押しして参ります。

2024 年度におきましても、資料に記載がありますとおりで、万博開催までのカウントダウンに合わせたイベントをはじめ、府・市における万博の機運醸成の取組みの充実をはじめ、市町村ともより連携・協力した機運醸成の取組みを進めて参ります。

また、こうした取組みにおきましては、新たに創設されました、先ほどご説明ございました万博推進局の地域連携タスクフォースとも十分に連携しながら、すべての府民に万博開催の意義を身近に感じていただき、大阪全体で機運を高めていけますよう、今後とも当部会としてしっかり取り組んで参ります。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして交通対策部会の谷口都市整備部長、よろしく願いいたします。

(谷口都市整備部長)

交通対策部会の部会長を務めております大阪府都市整備部長の谷口でございます。

それでは資料 41 ページをご覧ください。交通対策部会をご覧のようなメンバーでやっております。交通対策部会ではですね、大阪・関西万博における安全、円滑な来場の実現の観点から、関係部局間での情報交換及び調整を通じて、オール大阪の取組みを推進・加速させるということで、主にはこの 3 点ということで、道路や鉄道交通結節点など、交通インフラ整備に関する情報交換、それから、2 点目が交通の円滑化や環境創出の取組みを強調して進めるための調整、3 点目が一般交通への働きかけを推進するにあたっての所管施設の活用等に関する調整を行っているところでございます。

1 点目の交通インフラの整備に関する情報交換につきましては先ほどご説明もございましたとおり、此花大橋・夢舞大橋の 6 車線化の状況であるとか、舞洲東交差点の立体交差化の工事の状況についても情報共有しているところでございます。また淀川左岸線（2 期）の取組みについても情報共有させていただいております。

それから 2 点目の交通の円滑化などにつきましては、交通結節点となります弁天町駅で昇降設備やバリアフリートイレ、これを今年度設置するということであるとか、あと新駅舎や連絡通路の設置に向けた工事の推進、その他、アクセスとなる道路の案内誘導や補修などの取組みも今年度実施する予定となっているなど、進捗を共有しているところでございます。

また、3 点目の一般交通への働きかけなどにつきましては、来年度の試行をめざし、交通円滑化推進会議と連携しまして、例えば、横断幕等の設置や道路情報板の活用、管理施設でのポスター掲示、チラシの配布などについて検討を進めていくこととしております。42 ペ

ージにそのあたりのことを書かせていただいています。引き続き、会場アクセスとなります淀川左岸線（2期）をはじめ、道路や鉄道交通結節点など、交通インフラ整備の進捗把握を行いながら、来場者輸送対策協議会や交通円滑化推進会議の動向を踏まえ、交通の円滑化や環境創出の取組みの具体化及び実施を進めて参ります。以上でございます。

（小林万博推進局総務企画部長）

ありがとうございます。

続きましてユニバーサルデザイン部会の報告を吉田福祉部長よろしくお願いたします。

（吉田福祉部長）

はい。ユニバーサルデザイン部会の部会長させていただきます吉田でございます。

僕の方から、今の部会の検討状況等について説明させていただきます。

当部会では、高齢者、障がい者、妊婦さん、外国人、いろんな方が、万博の時期に大阪に来られますけど、そういった方が安心して万博を楽しんでいただく、大阪を過ごしていただく、そういった環境づくりを進めていくべく、このユニバーサルデザインの取組みを進めています。

主な課題としては資料 43 ページに書いていますように、万博会場外におけるユニバーサルデザインの推進、それと各部局において、そこに3つ書かせていただいていますけれど、誰もが快適に利用できる宿泊施設や観光・集客施設、飲食店の拡大、2つ目が情報アクセシビリティの確保をはじめとした事業者や府民理解の促進、そして3つ目が、誰もが円滑に移動できるよう、交通機関や道路等における環境整備の推進、この3つを府・市の関係部局、区役所と一緒に取組みを進めさせていただくということにしています。

44 ページをご覧くださいまして、2023 年度におきましては、大きく2つ進めさせていただく予定にしています。

1つ目が、宿泊施設等におけるユニバーサルデザインの拡大ということで、宿泊施設、観光・集客施設、飲食店向けに観光庁の方で「心のバリアフリー認定制度」というのをやっておられますけれど、これを各施設に、できるだけたくさんの方の方にとっていただくべくセミナーを複数回開催して、取得促進を図っていきたく思っております。また、観光情報や災害時の情報発信と、多言語に対応した多機能型を含む、観光案内表示盤の整備も進めて参りたいと思っております。

そして、大きく2つ目が情報アクセシビリティの確保、府民理解の促進ということで、多様な障がいの特性や障がいのある方への必要な配慮などを理解して、誰もが住みやすい共生社会をめざす「あいサポート運動」に取り組むなど、障がい理解の促進及び障がい者差別の解消に向けた周知・啓発を継続的に実施して参りたいと思っております。

加えまして、2024 年度以降は、支援を必要とする様々な方が公共交通機関や観光施設等におきまして配慮を得たり、支援を求めたりできますよう、啓発物等を活用して周知啓発を

進めるなど、さらなる環境整備を進めて参りたいと考えております。私の方からは以上です。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして、参加促進部会の報告を彌園万博推進局長よろしく申し上げます。

(彌園万博推進局長)

参加促進部会の彌園でございます。

資料の45ページをご覧ください。参加促進部会は資料の上段に記載の府・市の関係局で構成しているところがございます。その下の主な課題と検討内容というところで、6つの観点から、検討を進めているところがございますが、このうち、(1)のボランティアと、(3)の大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加、これにつきましては、先ほど府・市の取組みの中でご説明させていただきましたので、今回におきましては、その他の項目について、今年度の取組み、これを説明させていただきたいということで、46ページをご覧ください。まず、(2)大阪の子ども達の万博会場の無料招待、これについてでございますけれども、夏頃までに、無料招待の対象範囲でありますとか、実施手法などの事業スキーム、これを取りまとめいたしまして、年内の入場券前売り販売までに、それらを公表して参りたいというふうに考えております。

次に、(4)の障がい者や高齢者などの催事参加につきましては、夏頃の博覧会協会が実施いたします一般参加催事の募集、これの開始に合わせまして、広く周知呼びかけを行って参りますとともに、今年度予算化しておりますけれども、障がい者等が参画する舞台芸術等を万博で発表するために、その出展準備や出展作品の作成、これを進めていくところがございます。

次に(5)でございます。万博を契機とした国際交流でございますけれども、今年度、国が実施予定のモデル事業、この動向を注視しながら、府内市町村のモデル事業の実施につなげて参りたいというふうに考えております。

最後、(6)修学旅行などの誘客促進についてでございますけれども、博覧会協会などと連携いたしまして、府内の周遊コンテンツを旅行会社などにPRしていきまして、修学旅行の誘客促進につなげて参りたいというふうに考えております。

当部会からの説明は以上でございます。ありがとうございます。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

続きまして環境部会のご報告を、原田環境農林水産部長よろしく願いいたします。

(原田環境農林水産部長)

はい。環境部会長を務めております大阪府環境農林水産部長の原田でございます。

48 ページをご覧ください。環境部会では、カーボンニュートラルの実現に向けました、先進技術の開発や活用、事業者・府民の行動変容の促進、大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現に向けた取組み促進に取り組んでおります。これまで部会を2回開催いたしましたほか、博覧会協会との意見交換なども踏まえまして、今後の府・市の取組みの方向性を確認するとともに、万博に向けて府・市が実施する事業などについて情報共有や意見交換を実施しております。

2023 年度の取組みといたしましては、カーボンニュートラルに関しては、技術の試作開発や、実証等への補助、これは府の商工労働部で実施いたしますが、加えまして、大阪広域環境整備組合舞洲工場でのメタネーション実証など、万博会場内外での推進等、披露に向けた事業を推進して参ります。

また、府・市でEVバスを導入するバス事業者への補助を行い、ゼロエミッションモビリティの普及を促進するほか、事業者のCO₂削減分をクレジット認証し、万博への寄附につなげるスキームの構築、あるいはCO₂排出量の見える化等の事業を実施し、府民や事業者の行動変容を促進して参ります。

また、大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現に向けましては、大阪プラスチック対策推進プラットフォームでの海洋プラスチック削減などのモデル事業の成果を情報発信して、府域への展開を図りますとともに、バイオプラスチック製品のビジネス化プロジェクトに対します支援、さらには、大阪市での新たなペットボトル回収リサイクルシステムを推進することなどによりまして、プラスチックごみ削減対策を促進して参ります。

次の49ページの取組みイメージに従いまして、博覧会協会ははじめ、関係機関と連携を図り、府・市一体となって、万博におけますカーボンニュートラルの実現をめざして参ります。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございます。

最後にスーパーシティでございます。大阪スーパーシティ協議会を部会にかえて実施していただいております。坪田スマートシティ戦略部長よろしくお願いたします。

(坪田スマートシティ戦略部長)

はい。それではスーパーシティ部会の坪田より、スーパーシティの推進に関する取組みについてご報告いたします。

スーパーシティの推進につきましては、資料の50ページをご覧ください。ここに記載の府・市の3部局を中心に連携しながら取り組んでいるところでございます。

検討状況につきましては、昨年9月より、内閣府が設置しております国家戦略特区ワーキンググループにおきまして、規制所管省庁と協議を進め、ソフトウェアを活用した気象予報にかかる気象予報士の設置基準の緩和、それからシャトルバス等による貨客混載輸送につ

いて実現することとなりました。また、昨年12月には大阪のスーパーシティにおける先端的サービス及び規制改革の内容などを取りまとめた全体計画を策定いたしました。

今年度の主な取組みといたしましては、規制改革項目について国と協議を行い、区域計画を作成いたします。また、万博会場整備などの建設工事を円滑に行うためのデータの活用による交通量予測に基づくピークシフト、いわゆる夢洲コンストラクションなどの先端的サービスは、事業者とともにスーパーシティでの実装をめざして取り組んで参ります。今後とも府・市連携しながら大阪のスーパーシティ構想の実現を図って参ります。私からは以上でございます。

(小林万博推進局総務企画部長)

皆様ありがとうございました。

それでは次に、専門部会の追加につきまして、私の方からご説明申し上げます。資料最後のスライド53ページをご覧ください。過去博におきましても、博覧会協会の名誉総裁に皇太子殿下がご就任されるなど、大阪での皇室行事というものが想定される状況でございます。また、各国のパビリオン建設が進む中で、国内外からの賓客の増加が見込まれますことから、府・市の全庁的な接遇体制を整備するためにも、この推進本部に新たに賓客歓迎部会を設置して参りたいと考えております。

今後、府・市関係部局と一体となって取組みを進めて参りたいと考えておりますので、関係部局の皆様方におかれましては、引き続き連携をお願いいたします。

ここまでで何かご質問等がございますでしょうか。

よろしゅうございますでしょうか。

それでは、本部長代行、本部長による訓示を頂戴したいと思います。

はじめに、横山本部長代行よろしく願いいたします。

(市長)

はい。本部長代行の横山でございます。

いよいよ万博まで2年となりまして、この後起工式を迎えることとなります。行政だけではなく、大阪、関西の民間の皆さんも、2025年をメルクマールにして、大きな取組みが進んでいっております。そういった中で、今日ご説明いただきまして、地下鉄延伸や中央線の輸送力増強など、アクセス改善、これは非常に重要でございます。スムーズに開催するためには、来場者の皆さんが円滑にこの会場に来ていただく、これ非常に重要でございますし、周辺環境整備、これにも引き続き力を入れて取り組んでいただきたいと思います。あわせて、社会経済活動は今も行われておりまして、こちらの人流・物流への影響、これを最小化する必要がありますので、この点もよろしく願いいたします。

ちょっと各部会からご報告いただいたんですが、各部会の中でも少し温度差を感じているところです。より具体的なビジョンとスケジュール感を持って、課題等がありましたら迅

速にご対応いただき、これも博覧会協会等の動きを待つことなく、スピード感を持って取り組んでいただきたいというふうに思います。

あと、万博の認知度や来場意欲度の向上の部分でご説明いただきまして、確かに来場の意向が少し下がっているというのは気になりますし、若年層の万博の認知度が低いという資料も出ておりますので、これも各区長におかれましては、創意工夫を凝らして、地域を巻き込んで、若い方の意見を聞いたりしながら、様々な機運醸成の取組みを展開いただくようお願いいたします。

その上で課題があるようであれば、できるだけ早くに解決いただき、副本部長の副知事・副市長の皆様には、専門部会のグリップのほどお願い申し上げますとともに、各本部員の皆様には引き続きマネジメントの方、よろしくようお願いいたします。

本日この後起工式も迎えますので、盛り上げていきたいと思っております。よろしくようお願いいたします。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございました。

それでは吉村本部長よろしくようお願いいたします。

(知事)

ただいま、万博の推進状況、準備状況、各部会の取組みについての報告がありました。この間、着実に進めていただいているというふうに思います。実務的に進めていくことですが、様々な技術的なところであったり、それから色々な人に認知を広めていく、機運醸成をしていく、本当に今回の報告においても様々な広い分野ありますけれども、着実に、皆さん進めていってもらいたいと思います。その上で、まず、今後2年に迫ってきました。先ほど横山市長からもありましたけれども、機運醸成の点という意味では、やはり地域との連携、特に大阪府内、また、範囲でいうと関西ですけれども、よく僕のところにも連携したいという声が多く届いています。

地域連携タスクフォースを今回設置いたしますけど、非常に重要になると思っておりますので、今後、様々な自治体や団体活動をする中で、この万博と関連付けて、そして万博とともにやろうと言ってくれるところが非常に多いですから、そこの繋がりというのをぜひ広げてもらいたいと思います。府・市だけじゃなくて、府内の市町村のすべてもちろんそうですし、関西の自治体もそうですし、横の繋がりを広げてもらいたいなというふうに思います。

また、それにも関連しますけれども、150カ国が一堂に会することになりますので、大阪の魅力を世界に発信する絶好の機会でもあると思います。様々、万博開催中は会議、商談というのも多くなされるというふうに思います。自治体も参加する催事の募集が始まっていますし、テーマウィークの募集も始まっていますから、ここは大阪全体で、大阪の魅力を発信するまたとない機会ですから、ぜひ強力に準備を進めていってもらいたいと思います。

そして毎年、6ヶ月ごとに国でアクションプランを作っているわけですが、ハードはもちろん重要なんですが、アクションプランの中で、こういったものを組み込んでいくのか、毎回6ヶ月ごとに更新をしてきました。これは国のある意味予算にも関わることであります。ここに大阪府・市、そして関西経済界、地元の意向を反映させていくというのが非常に重要で、これまでもやってきましたけれども、準備の期間を考えると、今回は極めて重要な局面だろうというふうに思っていますから、今年の夏までに、大体、正念場が来るのかなというふうに思っています。

各部局において、国への打ち込みの準備等、そしてそれをまとめたものについては、私もそですし横山市長もそうですけれども、これまでどおり府・市一体で、また経済界と一緒に国にそれを打ち込んでいきたいと思っておりますから、ぜひその準備をよろしくお願いします。

部局長の皆さん、引き続き、いよいよ2年ですから、万博がうっすらぼんやりとですけども、見えてきたのかなというふうにも思います。企業パビリオンとか各国のパビリオンでも、こういったパビリオンを作ろうというのも、イメージがどんどん具体化しつつある、これからさらに具体化していきますので、いよいよ、準備の本格的な期間に入ったと思います。これからさらにアクセルを入れて、すばらしい大阪・関西万博、次の世代に繋がる、次の未来に繋がるワクワクする大阪・関西万博をぜひ実現したいと思っておりますので、これからも引き続きの準備、より一層の準備をよろしくお願いします。

(小林万博推進局総務企画部長)

ありがとうございました。

引き続き、大阪・関西万博の成功に向け、専門部会をはじめ、府庁、市役所をあげてしっかりと取り組んで参りたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日の議題は以上となりますので、これをもちまして、第2回2025年大阪・関西万博推進本部会議を閉会といたします。ありがとうございました。